大　屋　式

坪刈試験用小型脱芒脱穀機取り扱い説明書

(ＰＭ型)

(一株用　小型エンジン付)

合名会社　大屋丹藏製作所

事務所　：〒452－0055　愛知県清須市西枇杷島町北二ツ杁74番地
　　TEL（052）501-1867　　FAX（052）501-1877
工　場　：〒452－0064　愛知県清須市西枇杷島町旭2丁目73番地
　　TEL（052）501-2821
ＵＲＬ　：http://www.ohyatanzo.com
e-mail　tanzo@mpd.biglobe.ne.jp

MEMO

本機の特長

① 迅速に脱穀、脱芒ができ、従来の千歯扱きに比べ大幅な時間短縮ができます。

② 1人でも容易に使用できます。

③ 小石等の混入は非常に少なく、後の作業、又は機械への影響は、ほとんどありません。

④ 小型エンジンの使用により、軽量です。

⑤ 持ち運びが容易にできます。(安全のため二人以上で持ち運びしてください)

※安全上のご注意※

火災、怪我などの事故を未然に防ぐ為、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を読み、
本機に関する知識、安全の情報等を修得してから、本書に従って正しく使用して下さい。

⚠ 危険　取り扱いを誤った場合に、死亡又は重症を受けるような危険があります。

⚠ 注意　取り扱いを誤った場合に、中程度の障害や軽傷を負う、及び部的損傷の危険があります。

⚠ 危険

●本機への注油、点検、及び補修作業等をする時は必ずエンジンスイッチをＯＦＦにして本機が完全に停止してから行って下さい。

●本機はガソリンやオイルを使用するので、火気を近付けたり、火気のある場所での使用は絶対にしないで下さい。

●エンジンは高温になりますので、近くに燃え易いものがある時は取り除いてから使用して下さい。

●ガソリンの注入時は必ず付属の給油漏斗(Ｐ4参照)を用いて給油して下さい。
(万が一ガソリンがこぼれた場合は十分に拭き取ってから使用して下さい)

●本機は、なるべく水平な場所又は水平調整ボルト(Ｐ2を参照)で水平にしてから使用して下さい。
※ガソリンが漏れる恐れがあります。持ち運びの際にも十分注意して下さい。

⚠ 注意

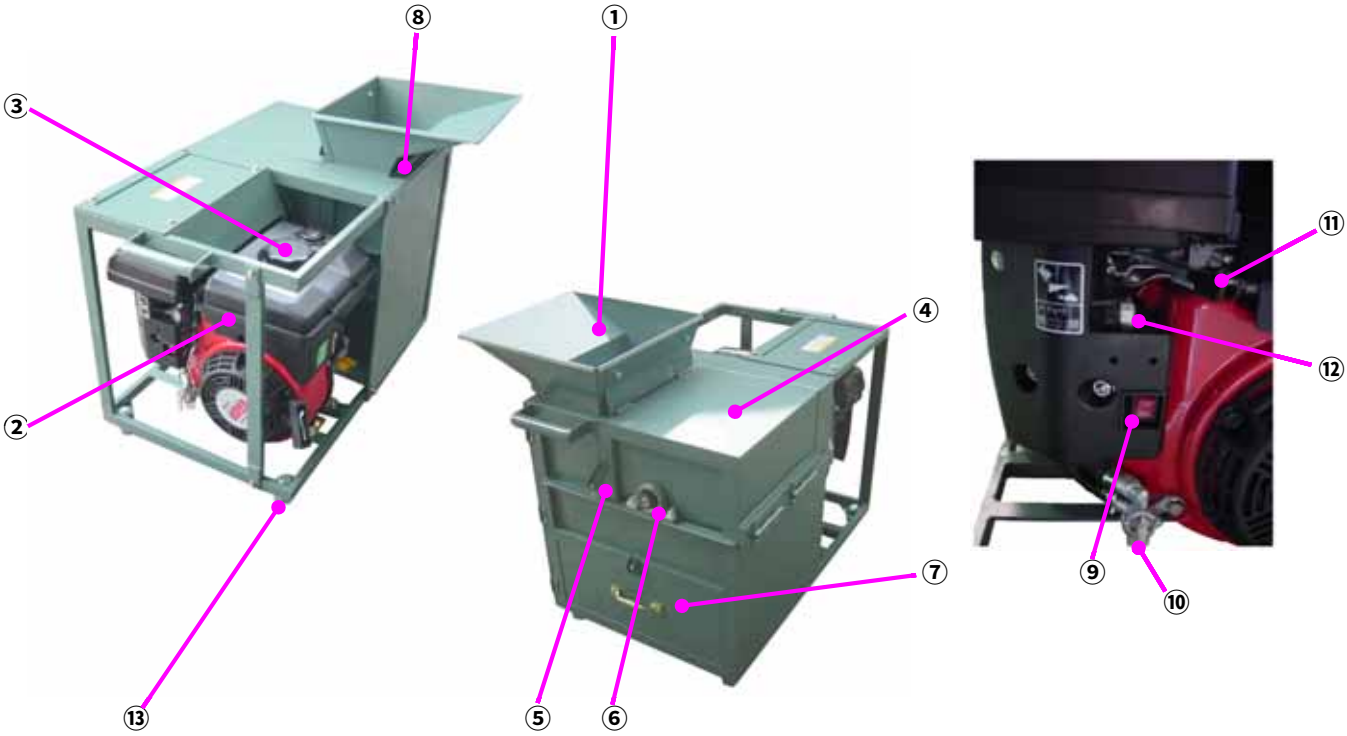
●お客様による本機の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任は負いません。

●本機の扱胴は小さく、高速で回転するので作業時は十分注意して下さい。

●本機は㈱TEL（052）501-2821

●本機は排気ガスが出るので屋内、及び換気の悪い場所での使用は避けて下さい。
屋外で使用する時も、マスク等を必ず着用して下さい。

◇各部名称◇



№	名称	説明
①	脱穀扱き口	ここから1点づつ資料をいれて下さい。
②	三菱GB100エンジン	詳しくは、三菱エンジンGB100取扱説明書を、よく読んで下さい。
③	燃料注入口	ガソリンは入れ過ぎないように注意して下さい。
④	扱胴蓋	この蓋はフックを外し、上へ引っ張ると開きます。 扱胴の清掃等に使用して下さい。
⑤	扱胴蓋止めフック	本機を作動する時は、必ずこのフックは掛けて下さい。
⑥	扱胴	作業が終了したら④の蓋を開け、掃除をして下さい。
⑦	資料受箱	受箱を止めるフックは必ず掛けて下さい。
⑧	脱穀板、脱芒板	作業目的によって変えて下さい。
⑨	エンジンスイッチ	エンジン始動時にＯＮにして下さい。
⑩	燃料コック	エンジン始動時に開いてください。
⑪	アクセルレバー	回転数を調整するレバーです。
⑫	チョークレバー	エンジン始動時に使用します。(P3作業手順を参照)
⑬	水平調整ボルト	本機を水平にする時に使用して下さい。水平にしたらナットでロックして下さい。

本体仕様

名称	全長(mm)	全幅(mm)	全高(mm)
本体	628	370	490
扱胴	190	190	135
資料受箱	TEL (052)	295	125

扱胴回転数	1000r.p.m
総重量	30kg

エンジン仕様

名称	全長(mm)	全幅(mm)	全高(mm)
GB100	270	270	340

最大出力	2.2KW(3.0ＰＳ)/3600r.p.m
点火方式	無接点マグネット点火
使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
燃料タンク容量	1.6リットル
始動方式	リコイルスタータ式
エンジンオイル量	0.4リットル

作業手順

1　作業開始前に各部の点検及び給油を行い、燃料コックレバーを"O"の位置に合わせ、エンジンスイッチをＯＮにします。チョークレバーを閉じ、アクセルレバーを少し左方向に動かして下さい。そして始動グリップを勢いよく引いて、エンジンの暖機運転をして下さい。
※エンジンの詳しい取り扱い方は、三菱エンジンGB100取扱説明書をよく読んで下さい。

2　チョークレバーを戻し、エンジンの回転が安定してから、資料を投入して下さい。
※資料を入れる際には、藁の巻き込みに十分注意して下さい。
※万が一、藁が巻き込まれた場合は無理に引っ張らず、速やかに手を離しエンジンスイッチをＯＦＦにして本機が完全に停止してから、巻き込まれた藁を取り除いて下さい。

3　脱穀扱き口に調査株を入れ、脱穀又は脱芒をします。1点づつ終わりましたら、脱穀板、又は脱芒板を引き抜き、扱胴内の藁屑等を下に出して下さい。

4　資料受箱を引出し、資料を取り出したら、受箱を戻し脱穀板又は脱芒板を差し込んでから次の資料を入れて下さい。

5　全ての資料が終了しましたら、扱胴蓋を上げて扱胴の掃除をして下さい。掃除が終わったら、蓋を戻してフックを掛けて下さい。

保管に関して

シーズンが終了し、３０日以上使用しない時はガソリンを抜き、(P5参照)
各部の掃除及びエンジンの手入れをし、
必ず火気のない場所にて保管して下さい。

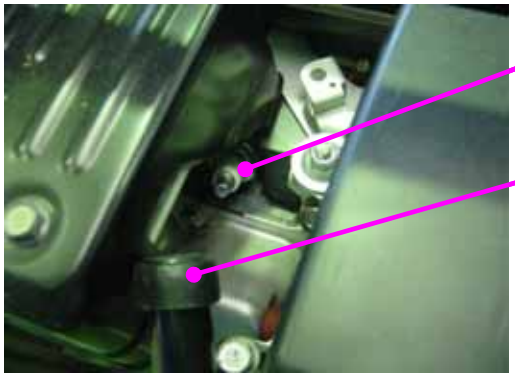
その他の注意事項

長期間使用しなかったときは、エンジンが始動しづらくなりますので、最初に、各部の点検及び清掃を必ず行って下さい。
※エンジンの点検及び清掃をする時は、必ず手袋を着用して下さい。

主な点検個所

エンジンオイル量、汚れの点検　⇒　量が少ないときは足してください。オイル量が極端に少ないとエンジンが破損しますので注意して下さい。
汚れがあるときは交換して下さい。
(詳しくはGB100取扱説明書を参照して下さい)

プラグ汚れの確認　⇒　付属のプラグレンチを使い、プラグをはずして下さい。
汚れがある場合は、ブラシやきれいな布を使い拭き取って下さい。



プラグ
※本体上部ナットを外し、カバーを取ると、
マフラーとエアクリーナーの間にあります

キャップは手で外せます。

その他の点検個所については、GB100取扱説明書に従って正しく行って下さい

付属部品一覧

●
出荷時には、この漏斗は取り付いていませんので
付属の工具を使い、取り付けて下さい。

● 注油ポンプ
注油やオイル交換時に使用して下さい。

● 給油漏斗
ガソリン給油時に使用して下さい。
※ガソリンを給油する時は、溢したり入れすぎない様に
十分注意して下さい。

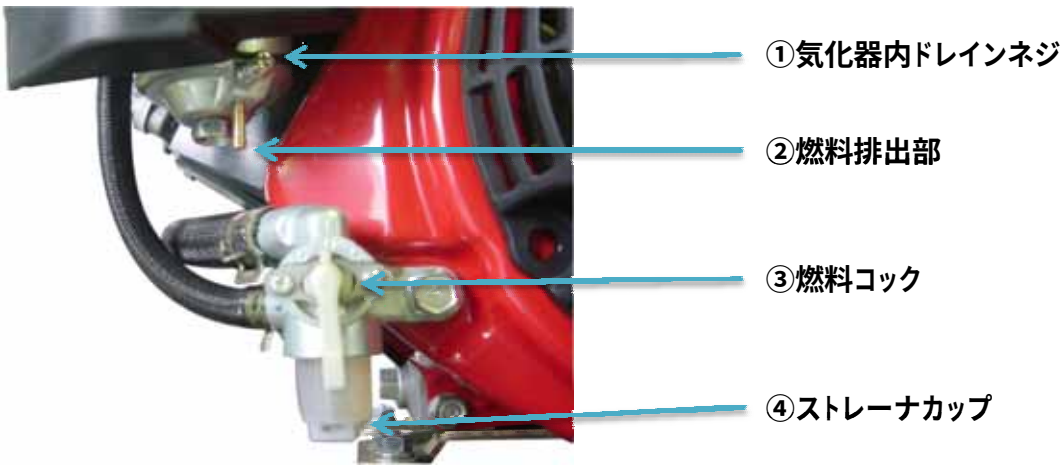
● スパナ、六角レンチ
エンジンや本体の手入れの時に使用して下さい。

● プラグレンチ
プラグの掃除又は交換時に使用して下さい。

● 脱穀板
刈り取った資料を脱穀する時に使用して下さい。

● 脱芒板
脱穀した資料を脱芒する時に使用して下さい。

ガソリン排出方法



✦作業手順✦

・エンジンを30日以上お使いにならない時は必ず次の手順にて保管して下さい。

始めに、必ず周りに火気がないことを御確認ください。
作業はすべて、換気の良い場所で行ってください。

1)本機が完全に停止するまでエンジンを動かし、ガソリンタンク内の燃料を空にして下さい。
【または、本項手順2)、3)に従ってもガソリンタンク内の燃料を空にできます。】

2) ③燃料コックを閉めた状態で④ストレーナカップを外し、カップ内の残りの燃料を空にして下さい。(注1)

3) ④ストレーナーカップを外した状態で、③燃料コックを開け、ホース内の燃料も排出して下さい。(注1)

4) ①気化器内ドレインネジを弛めて気化器内の燃料をぬいてください。(注1)

5) 上記のすべてを元に戻して、リコイルスターターグリップを回してクランク軸に圧縮のかかるところで止めて保管して下さい。

以上の作業を必ず実行し湿気の少ない場所にて保管して下さい。

(注1)
作業時、場合により多量の燃料漏れがあります。必ず小さな器などを用意し、
排出される燃料を受けられるように、備えて下さい。

OHOYA